

平成 22 年度 近畿圏広域地方計画の推進状況について

～ 「知と文化を誇り力強く躍動する関西」の実現に向けて ～

近畿圏広域地方計画協議会において、平成 22 年度の近畿圏広域地方計画の推進状況を取りまとめましたのでお知らせいたします。

近畿圏広域地方計画の推進状況について

近畿圏広域地方計画の進捗状況については、近畿圏広域地方計画協議会の構成機関との連携の下、毎年度、モニタリングを行い各プロジェクトの進捗状況を取りまとめています。なお、今回は計画策定後、2 年目のモニタリングとなります。(取組内容をより適切に記載するため、一部の取組事例については、平成 23 年度の取組内容も一部記載しております。)

平成 22 年度のモニタリング結果

関西の各地域の多様な個性を活かしながら、「知と文化を誇り力強く躍動する関西」を掲げた本計画の実現へ向け、前進しています。

関西の魅力発揮 (文化首都圏プロジェクト(プロジェクトは、以下「P」とする)、関西の魅力巡りP、関西を牽引する賑わい創出P)

・「本物」を活かした地域の魅力の向上・活用

(「はなやか関西～文化首都年～」の取組、山陰海岸ジオパークの取組など)

・新たな賑わいの創造 (うめきた(大阪駅北地区)の開発など)

関西の産業・地域力の強化、交通基盤の確保 (次世代産業を創造する「知の拠点」P、広域物流ネットワークP)

・「知の拠点」の構築 (京速コンピューター「京」の整備など)

・物流ネットワークの充実 (阪神港の「国際コンテナ戦略港湾」選定など)

持続可能な地域の形成 (大阪湾ベイエリア再生P、CO₂削減と資源循環P、水と緑の広域ネットワークP、農山漁村活性化P)

・環境に優しいエネルギー導入の取組 (大規模太陽光発電所(メガソーラー)の設置など)

・豊かな自然を守る取組 (「緑のヒンターランド」の保全など)

・農山漁村の活性化 (「近畿の農業・農村の6次産業化」の取組など)

安全・安心な社会の形成 (広域医療P、広域防災・危機管理P)

・府県を越えて広がる医療の連携 (府県域を越えたドクターヘリの運航など)

・大規模地震等への防災・減災対応と関係機関との連携

(東南海・南海地震等への防災・減災対応など)

今後の方針

関西の大きなポテンシャルを活かして、圏域全体としての総合力を発揮できる取組が求められており、今後、引き続き関係機関と連携して本計画の取組を進めていきます。

(参考1)近畿圏広域地方計画について

近畿圏広域地方計画は、国土形成計画法に基づき、近畿圏(滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)を対象に作成した概ね10ヶ年間の計画であり、人口減少・高齢化時代や国際競争が激化する時代にあっても自立的に発展できる「知と文化を誇り力強く躍動する関西」を目指すものです。

関西の府県、政令市、国の関係機関、主な経済団体等からなる広域地方計画協議会の議論を経て、平成21年8月4日に策定しております。

(参考2)近畿圏広域地方計画協議会の構成機関

<府県> 福井県、岐阜県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、岡山県、徳島県

<指定都市> 京都市、大阪市、堺市、神戸市

<市町村> 近畿市長会、近畿ブロック府県町村会

<経済団体等> (公社)関西経済連合会、大阪商工会議所、(社)関西経済同友会、京都商工会議所、堺商工会議所、神戸商工会議所、関西広域機構

<国の地方支分部局> 近畿管区警察局、総務省近畿総合通信局、財務省近畿財務局、厚生労働省近畿厚生局、農林水産省近畿農政局、林野庁近畿中国森林管理局、経済産業省近畿経済産業局、経済産業省中国経済産業局、国土交通省近畿地方整備局、国土交通省中部地方整備局、国土交通省中国地方整備局、国土交通省近畿運輸局、国土交通省神戸運輸監理部、国土交通省大阪航空局、気象庁大阪管区气象台、海上保安庁第五管区海上保安本部、海上保安庁第八管区海上保安本部、環境省近畿地方環境事務所

1. 関西の魅力発揮 (文化首都圏P、関西の魅力巡りP、関西を牽引する賑わい創出P)

計画策定以降の進捗状況

「本物」活かした魅力の向上と活用、「いきいきした関西の魅力」と「賑わい創出」作りを進めています。

「はなやか関西～文化首都年～」の取組

H21 関西ブランドへの意識啓発として「関西ブランドセミナー」を開催。

H22 H22年度テーマ「茶の文化」では40を超える取組を選定、本物の体現、地域の連携を実現する事業の運営等に取り組んだ。

山陰海岸ジオパークの取組

H21～22 地質見学会などの体験学習、ジオウォーク、フォーラム、ツアーやジオガイド養成講座、普及啓発活動を展開した。

H22.10月 ジオパーク活動が評価され、世界ジオパークネットワークへの加盟認定され、記念として国際シンポジウム開催した。

うめきた(大阪駅北地区)の開発及び西日本最大のターミナル駅(大阪駅ビル)の開業

H21.7月 環境をテーマにした機能集積と都市空間形成を目指し「大阪駅北地区2期開発ビジョン」を策定した。

H23.1月 公募により地区の新名称を募集し、「うめきた/梅北」に決定した。

H23.5月 西日本最大のターミナル駅「大阪ステーションシティ」としてグランドオープンした。

「はなやか関西～文化首都年～」に関する取組



関西ブランドセミナー
提供：(社)関西経済連合会



取組参加団体による茶席
提供：小笠原流煎茶道



楽しい茶摘み風景
提供：宇治田原手揉み保存会

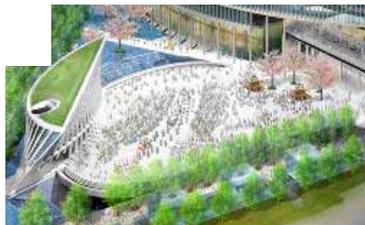


玄武洞での地質見学会
(兵庫県)



世界ジオパーク加盟記念国際シン
ポジウム(神戸市) 提供：兵庫県

うめきた(大阪駅北地区)の開発及び大阪駅ビルの開業



大阪駅北地区先行開発区域プロジェクト
大阪北口広場(グランフロント大阪)
提供：大阪駅北地区先行開発区域プロジェクト開発事業者



大阪駅北地区の新名称が
「うめきた/梅北」に決定
提供：大阪市



大阪ステーションシティ 提供：JＲ西日本



オープン
1ヶ月で
1000万人
の来客者
を達成

2. 関西の産業・地域力の強化、交通基盤の確保

計画策定以降の進捗状況

(次世代産業を創造する「知の拠点」P、広域物流ネットワークP)

アジア・世界を先導する次世代産業の創造や国際競争力の強化を目指して様々な取組を進めています

「知の拠点」の構築

H22.5月 京速コンピュータ「京」の施設が完成し、H23.6月にはスーパーコンピュータのランクで世界第1位を獲得した。
H21～H22 産官学による世界トップクラスの研究開発拠点で「バイオ・ライフサイエンス」に取り組んでいる。

物流ネットワークの充実

H22.8月 阪神港が国際コンテナ戦略港湾に選定され、大型船舶に対応した岸壁の大水深化、「内航フィーダー輸送網の拡充」及び「コンテナターミナルのゲートオープン時間を拡大」し、東アジア主要港湾と対峙できる港湾サービスを目指している。

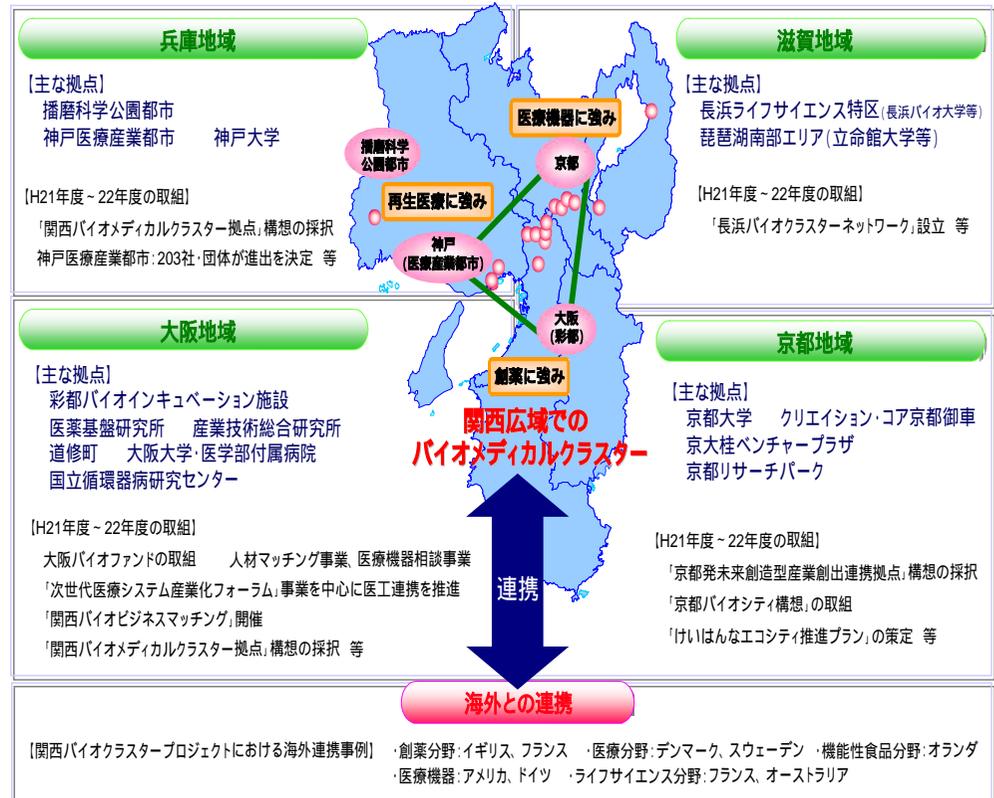
京速コンピュータ「京」



世界のスーパーコンピュータをランク付けをする第37回TOP500リストで第1位を獲得

京速コンピュータ「京」施設の外観
提供：神戸市

バイオ・ライフサイエンス



阪神港の「国際コンテナ戦略港湾」選定



阪神港夢洲コンテナターミナル
提供：近畿地方整備局

内航フィーダー船での貨物輸送
提供：井本商運(株)

3. 持続可能な地域の形成

計画策定以降の進捗状況

(大阪湾ベイエリア再生P、CO2削減と資源循環P、水と緑の広域ネットワークP、農山漁村活性化P)

大阪湾ベイエリアでは環境・エネルギー産業が集積しており、内陸部では企業や市民等による森林整備活動等も実施している。さらに、農山漁村の活性化に向けた取組を展開しています。

環境に優しいエネルギー導入の取組

H22.10月 堺市臨海部・第7-3区の大規模太陽光発電所(メガソーラー)が一部営業運転を開始した。

H22.12月 大阪市臨海部(夢洲)のメガソーラーを実現させる基本協定が大阪市と事業予定者間で締結した。

H21~H22 電気自動車(EV)の普及促進、倍速充電スタンドの設置が各地で進展している。

豊かな自然を守る取組(「緑のヒンターランド」の保全)

H21~H22 兵庫「企業の森づくり」、「京都モデルフォレスト運動」、和歌山「企業の森」、「大台ヶ原自然再生推進計画(第2期)」の取組

農山漁村の活性化

H22.6月 「近畿農業・農村6次産業化協議会」、H22.7月に「近畿農業・農村6次産業倶楽部」を設置し、H23.3月には「近畿農業・農村6次産業化方策」の作成・公表をした。(商談会、加工開発勉強会、現地交流会、ロゴマークの作成等の取組を展開)

H21~H22 関西各地で都市・農山村交流拡大するため、田舎暮らしシンポジウム、現地見学ツアーなどを展開している。

大規模太陽光発電(メガソーラー)



メガソーラー現地写真(堺市)
平成23年2月 提供:関西電力(株)

電気自動車の普及促進



次世代自動車
提供:京都市



倍速充電スタンド
提供:大阪市

近畿の農業・農村の6次産業化



近畿農業・農村6次産業倶楽部の取組



ロゴマーク

「緑のヒンターランド」の保全



森林保全作業



提供:和歌山県



田舎暮らし現地見学ツアー 提供:近畿農政局

4. 安全・安心な社会の形成 (広域医療P、広域防災・危機管理P)

計画策定以降の進捗状況

府県を超えた安心の連携と、自然災害から暮らしや産業への被害を軽減するため、関係機関との合同防災訓練・連携などが積極的に取り組んでいます。

府県を越えて広がる医療の連携

- H21 ドクターヘリ運航調整委員会で運航要領作成。ドクターヘリの離着陸と救急車との合流が可能な場所を確保。
- H21 公立豊岡病院では、運航司令等設備、搭載用医療資機材などを整備した。
- H22.4月 兵庫県、京都市、鳥取県でのドクターヘリの共同運航を開始。
- H22 ドクターヘリ運航調整委員会で効果検証、運航要領改訂。病院敷地内のヘリ格納庫、給油設備を整備した。
- H23.4月 滋賀県内の運航を開始。

大規模地震等への防災・減災対応と関係機関との連携

- H21.8月 災害の調査などを迅速にするため、TEC-FORCEを派遣した。(兵庫県佐用川)
- H21.10月 福井県嶺北北部地震を想定、2府7県(国土交通省、消防会、警察等)による合同訓練を実施した。
- H23.1月 琵琶湖岸断層帯地震を想定し、国土交通省、滋賀県、関係市などが参加し図上演習を実施した。
東南海・南海地震から人命・財産を守るため海岸保全施設の整備を促進。

府県域を越えたドクターヘリの運航



3府県共同ドクターヘリ
(兵庫県・京都市・鳥取県)



3府県共同ドクターヘリの就航式
提供：兵庫県

大規模地震(東南海・南海地震等)への防災・減災対応



TEC-FORCE隊員による現地調査
提供：近畿地方整備局



琵琶湖西岸断層帯地震図上演習
提供：滋賀県



近畿府県合同防災訓練
提供：近畿地方整備局



和歌山県下津港海岸(海南地区)
提供：近畿地方整備局

和歌山県海南市(下津港海岸)における津波浸水予測区域では人命・財産を守るため、海岸保全施設の整備を推進。